

一歩前進

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』…「あいさつ・あきらめない・ありがとう」…をベースに

『あきらめない』姿がいっぱい!!

～友達を応援する姿にも感動～

…マッスルチャレンジ…

1月21日(火)から29日(水)の間の昼休みを使って、児童会体育委員会主催の縄跳び大会「マッスルチャレンジ」が、学年ごとに行われ、1・2年生は普通跳び(前跳び・後ろ跳びのどちらでもOK)、3・4年生はあや跳びか交差跳び(前後ろどちらでもOK)、5・6年生は二重跳び(前後ろどちらでもOK)で、跳べた時間を競いました。

子どもたちは、体育の時間や休み時間にそれぞれ練習を重ね、本番に臨みましたが、何せ一発勝負ですので、練習の成果が発揮できずに、スタート直後にひっかかってしまう子どもや思い描いたとおりに跳べずに途中でひっかかってしまい涙する子どもなどなど、大げさのようですが、そこには、さまざまなドラマが展開されていました。



そして、縄跳びが得意・不得意に関わらず(思い通りに跳べなかった子どもも含めて)、最後まで「あきらめない」子どもたちの姿がたくさん見られたのが、何より嬉しく思いました。やはり、一生懸命な姿は美しいし、かっこいいです。あきらめずに取り組んだことは、必ずや、その次にいかされるはずです。

さらに、さらに、最後まであきらめずに頑張っている友達を、自分のことのように応援する子どもたちの姿が美しい!「頑張れ～」の声が体育館中に響き渡り、体も、そして心も温まる時間となりました。

くぎ打ちとんとん～3年生・図工から～



3年生が、図工「くぎ打ちとんとん」の授業で、初めて金づちを使っの『くぎ打ち』に挑戦しました。何回か授業におじゃましましたが、全く初めて経験するという子どもがほとんどで、悪戦苦闘していました。

これまた大げさなのですが、「くぎ打ちとんとん」、まさに人生そのものだなと思いました。まっすぐにくぎが入らずにふてくされて作業が全く進まなくなってしまった子ども、へこたれずに何回もやり直して何とかくぎを通した子ども、発想を変えてくぎが通りやすいところに打ち直した子ども、最初から難なくサッサとくぎを通した子ども…などなど。

授業中は、図工に限らず、どの教科でもそういった場面に出くわします。子どもたちは、そんな毎時間の授業を経験していく中で着実にたくましく成長していっています。町小の子どもたち、頑張れ～～!!

校長室から

冬休み明け集会で、生活安全委員会の6年生児童が「朝のあいさつのパターン」を5パターン演技した中の『スーパーあいさつ』を意識してくれているのか、朝から、かなりの数の児童が、一瞬立ち止まって「おはようございます」と、丁寧にあいさつをしてくれます。感心します。私も思わず笑顔になり、とてもいい気持ちになります。また、立ち止まりはせずとも、元気な明るい声であいさつをしてくれる児童もたくさんいます。元気なあいさつをもらうと、これまたいい気持ちになり、自然と元気が湧いてきて、寒さも吹き飛んでいきます。

ただ、先生たち以外の人に…となると、まだまだのようです。保護者の方や地域の方にも自然とあいさつができるようになればいいなあって思います。今後も、あきらめることなく『あいさつのレベルアップ』をめざしていきます。何といても、まずは『あいさつ』です。



※明日2月21日(金)は、授業参観、学級懇談会、PTA総会を行います。子どもたちの様子をしっかりとご覧ください。懇談会、総会まで残っていただくとありがたいです。たくさんのお越しをお待ちしています。